

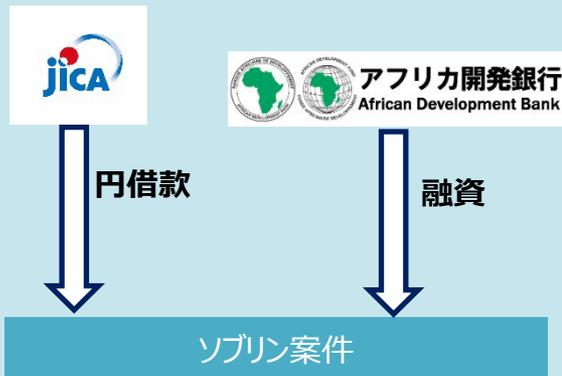
EPSA (Enhanced Private Sector Assistance for Africa)

アフリカの民間セクター開発のための共同イニシアティブ

- ▶ アフリカの持続可能な成長のため、日本とAfDBが連携して民間セクター開発を包括的に支援する枠組。JICAの対アフリカ支援を、現地の知見・プレゼンスを有するAfDBの資金支援と協調して実施することで、支援インパクトの更なる向上を図るもの。
- ▶ 2005年から開始。TICAD9では、EPSA 6として次期TICADまでの今後3年間（2026～2028）で最大55億ドルの資金協力を発表 ※前回のTICAD8（EPSA5）では3年間（2023～2025）で最大50億ドルの資金協力。
- ▶ 以下のスキームを活用することで民間セクター支援に対する様々なニーズに対応（赤字はEPSA6の新規施策）。

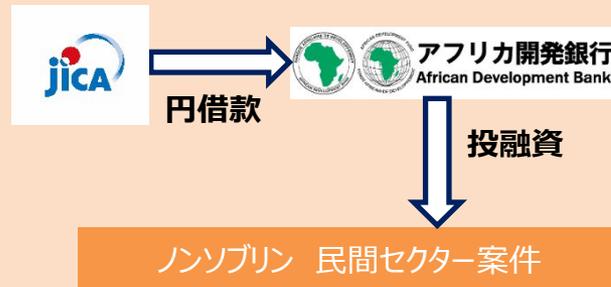
政府向け支援 (ACFA) Accelerated Co-Financing Facility for Africa

- AfDBとJICAとの協調融資。
- 重点分野「電力、連結性、保健、農業・栄養」に加え、**防災等の「強靱性」**を追加。
- **債務状況の改善に取り組む国を支援対象に追加。**



民間向け長期支援 (NSL) Non-Sovereign Loans

- JICAによるAfDB経由のツーステップローン。**円借款の譲許性を反映して、AfDBから民間企業への貸出し金利を引き下げ。**



JICAによる海外投融資 (IDEA) Impact Investing for Development of Emerging Africa

- **JICAアフリカインパクト投資イニシアティブ（官民計15億ドル）を通じたAfDBとの協調。**

技術支援 (FAPA) Fund for African Private Sector Assistance

